

○ホストタウン事例（北海道士別市）

○**北海道士別市**（相手地域：台湾）は、チャイニーズタイペイチームの事前合宿誘致を目指すとともに、士別市の安全・安心な食材や地域の観光資源を台湾に対してPRし経済交流を推進することを目的に、ホストタウン交流事業を実施。

○2018年2月、2回にわたり台湾のウェイトリフティングチームを合宿に招へいした。合宿期間中には、公認スポーツ栄養士の指導に基づく士別産のグローバルG.A.P.食材をはじめとした安全安心な食材を活用したメニューの提供や、市内の農業生産者や中高生との交流イベントなどを開催した。

○事後アンケートでは「合宿で士別市にまた来たい」「安全安心な士別産の食材を人に勧めたい」と回答する割合がそれぞれ9割を超えるなど評価が高く、今後の合宿誘致や経済交流などが期待される。



合宿所での食事風景



公認スポーツ栄養士の栄養講義



地元高校との交流会①



士別市の安全・安心な食材を使ったメニュー例



メニューにおける
グローバルGAPの説明



地元高校との交流会②

○ホストタウン事例（岩手県野田村）

○**岩手県野田村**（相手地域：台湾）は、東日本大震災時の支援に対する感謝の気持ちを伝えるとともに、村内外へのオリンピック・パラリンピックに関する情報発信に使うポスターづくりのため、2018年1月、村内の中学生4人を台湾に派遣した。

○中学生らは静岡市の中学生とともに台湾を訪問し、チャイニーズタイペイのトップアスリートに対するインタビューを実施した。帰国後、台湾での見聞をもとにポスターを制作し、村内行事での発表や鉄道車内への広告掲出など、さまざまな形で地域への情報発信を行った。

○今後、チャイニーズタイペイ陸上選手のキャンプ地である静岡市を訪問し、中学生が制作したポスターを持って感謝の気持ちを伝えるなど、村民全体で台湾を知り応援する取り組みを行う予定。



ポスター作成に向けた講習



現地にてトップアスリートへの取材を実施



チャイニーズタイペイ陸上協会への表敬訪問



野田村生涯学習大会にて成果発表



鉄道車両内でのポスターの掲示

○ホストタウン事例（山形県鶴岡市）

○山形県鶴岡市(相手国:ドイツ、モルドバ)は、2018年2月、ドイツ・モルドバ両国の農業関係者4人を招へいし、餅つき体験や農地・農産物直売所の視察、出前授業や学校給食体験等の他、市民も参加可能な「食と農のおはなし会」「国際オーガニックミーティング」といった交流イベントを実施した。

○これらの市民交流を通じて、ドイツ・モルドバ両国についての理解のみならず、鶴岡市における有機農業の取組みについても関係者の理解が深まり、意識が事前合宿や事後交流に向けられた。

○今後は、パラリンピック種目ボッチャ競技のドイツナショナルチームの合宿や、モルドバからの合宿の受入れ時に、地元有機農産物を使用する予定である。



食と農のおはなし会の様子



燻製ハムづくりワークショップの様子



国際オーガニックミーティングの様子



国際オーガニックミーティング参加者に提供 されたオーガニックフード

国際オーガニックミーティングのチラシ

○ホストタウン事例（茨城県笠間市）

○**茨城県笠間市**（相手国：エチオピア）は、長距離のジュニア選手相互の交流とエチオピア選手の日本の社会及び文化の経験、笠間市とエチオピアとの交流拡大を図ることを目的として事業を実施。

○2018年1月、笠間市が開催する「県下中学校交歓笠間市駅伝大会」にエチオピアのジュニア選手2名とコーチ1名を招待し、笠間市の中学生と連合チームを結成してレースに参加。笠間中学校への一日体験入学など中学生相互の交流を深めた。

○同世代の世界トップレベルのエチオピア選手を招くことで、中学校の選手たちにとって国際感覚が醸成されるとともに、世界のレベルを知ることで、競技力向上への刺激となった。

○事前・事後のキャンプ誘致や、エチオピアと笠間市における今後の交流拡大の可能性が広がった。



駅伝連合チームメンバー



駅伝後のサイン交流



中学校での授業体験(英語)



駅伝 ゴール前のデットヒート



駅伝前のたすき練習



中学校での授業体験(書道)

○ホストタウン事例（静岡県静岡市）

○**静岡県静岡市**（相手地域：台湾）は、台湾との交流を深めることを目的に、ホストタウン交流事業を実施。台湾陸上協会と2017～2020年まで毎年静岡市で合宿を実施することに**合意**している。

○2018年1月～2月、静岡市の中学生が台湾を訪問し、これまでの台湾と静岡市の交流や台湾陸上協会について学び、実際に選手たちへの取材・撮影によるポスター制作を行った。また、静岡市内外に、台湾の魅力やホストタウン交流事業の取り組みについての情報発信を行った。

○静岡市民のオリンピックへの関心の向上、静岡市の魅力発信のほか、参加した中学生の国際感覚の向上など人材育成にも成果が見られた。また、台湾へ同行した岩手県野田村との交流も深まった。

○今回の成果を踏まえ、今後の合宿や交流など各種事業の展開も円滑に進むことが期待される。



ワークショップで学ぶ中学生たち



台湾を訪問し、撮影・取材を通して選手たちと交流



生徒たちの言葉と写真で完成したポスター

6 | 2018年(平成30年)3月号

静岡市ホストタウンプロジェクト2017-2018
東京オリンピック・パラリンピックをきっかけに
中学生が国際交流!!

市立安田川中学校の生徒5人が、「映像によるホストタウン魅力発信プロジェクト」で静岡市と台湾の魅力をPRするため、1/16㈮～9㈯に台湾を訪問し取材をしました。今回、取材をした台湾陸上協会は、昨年10月に静岡市を東京五輪の事前合宿地とする覚書の締結を行い、同校とも交換を深めてきました。

生徒たちは、事前にワークショップやプロカメラマンなどから写真撮影や取材方法を学び、選手や台湾の歴史・文化などを取材し、ポスターや映像作品を作成します。このPR作品は、スポーツイベントやスポーツ報道などで展示する予定です。

市は、1/18㈭スペインハミトン連盟とともに事前合宿地の覚書の締結（15ページ参照）を行い、スポーツの国際交流がますます盛んになります。今後、世界で活躍する一流選手たちとのスポーツを通じた交流事業も開催していくので、ぜひご参加ください。

問い合わせ サポート交流課 ☎221-1037

ワークショップの様子

取材した台湾の特徴

台湾の人たちの優しさ
心が温まりました

とても貴重な経験
ができました!

魅力ある良い印象
が残されました!

1年生
田中由香さん
2年生
二橋美々さん
2年生
佐藤なづなさん
2年生
高橋愛理さん
1年生
西田由香さん
1年生
山田由香さん

映像によるホストタウン魅力発信プロジェクトとは

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを契機に自治体と団体との交流を促すための国際事業で、全国の自治体で初めて中学校が対象に選ばれました。中学生の国際感覚を養い、生徒からの情報発信で市民のスポーツに対する関心度を向上すること目指しています。

市の広報紙で事業を紹介し、市民に幅広く情報発信



ホストタウンサミットで取り組みを発表

○ホストタウン事例（徳島県）

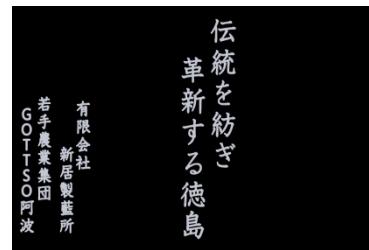
○**徳島県**（相手国：ドイツ）は、オリンピック・パラリンピック（以下、オリパラ）を契機にしたドイツとの交流の拡大や地元産品の魅力発信を目的とした事業に取り組んでいる。

○2018年度事業では、徳島商業高校生らが「ホストタウン特派員高校生」として、阿波藍・**薀**の製造所である農業法人や、グローバルG.A.P.を取得し、オリパラへの食材供給を目指す農家グループを取材し、専門家の指導の下、PR用映像作品の作成を行った。

○徳島県の魅力発信を行うため、特派員高校生が他の生徒や県内事業者へ事業協力を呼びかけた結果、オリパラを「自分ごと」として捉える人が増加。特に若い世代が、オリパラを契機に地域の将来を担う意識を持ち、それが周囲へと波及した。さらに、他自治体から連携の打診を持ちかけられる等、今後も多方面に成果が波及していくと期待される。



新居製藍所への取材



GOTTSO阿波（農家グループ）への取材

映像の編集作業



完成した映像作品